22422

ローマンシェード

# シングルシェード

電動タイプ

プレーンスタイル　シャープスタイル

バルーンギャザースタイル　バルーンボックススタイル　バルーン三ツヒダスタイル

# 取扱説明書

# 保証書

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

お読みになった後は、大切に保管してください。

**販売店様へのお願い**

**保証書下の欄（販売店名・住所・電話番号・お買い上げ日）を必ずご記入の上、お客様へお渡しください。**

株式会社ニチベイ
本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4
お客様サービス窓口：TEL 03-3272-2595（平日9時～17時30分）
ホームページアドレス http://www.nichi-bei.co.jp



# 安全にご使用していただくために

**必ずお守りください**

●ここでは、お買上げいただいた製品を正しく取付け、安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。
取付けの前によくお読みになり、適切な取扱をしていただきますようお願いいたします。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

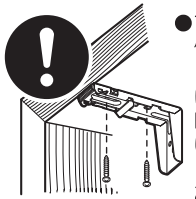
| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示の欄は、「重傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⃠ | この表示の欄は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | この表示の欄は、必ずしていただく「強制」内容です。 |

## ⚠警告

●付属のブラケット取付けネジは木枠用ですので、木質以外の下地（石膏ボード等）にはご使用になれません。取付け面の材質及びブラケットのネジ穴（φ4mm）に適合するネジ及びプラグ・アンカー等を別にご用意ください。



●ブラケット取付け時は、ブラケット1個に付き必ず2本以上のネジでしっかり固定してください。また、本体取付け時は、本体がブラケットにしっかり固定されているか必ず確認してください。取付けが不完全ですと製品が落下してケガをしたり物を破損する恐れがあります。

●製品にモノを下げたりぶら下がったりしないでください。製品の落下破損などによる思わぬ事故の原因となります。

●交流100ボルト以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●延長コードや電源コードを破損するようなことはしないでください。傷つけたり加工したり、重いものをのせたり加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりすると芯線の露出、断線により火災・感電の原因となります。

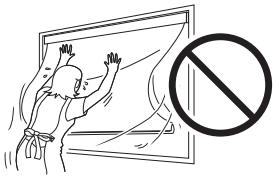
●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱し、火災・感電の原因となります。

●電源プラグの刃にほこりが付着しないよう定期的に掃除をしてください。湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

●異常時（こげ臭い等）は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
異常のまま操作を続けると、故障や感電・火災の原因となります。

# ⚠警告

●強風の時や雨が降っている時は、必ず窓を閉めるかシェードをたたみ上げてください。製品の破損や思わぬ事故の原因となります。



●昇降動作の範囲内に破損の恐れのある物や操作の障害となる物を置かないでください。また操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。

●水漏れ（結露・雨漏り等）の発生が予想される場所への取付けは絶対におやめください。

●生地が防災品の場合でも、火のそばでのご使用は絶対におやめください。

●高温（50℃以上）が予測される場所への取付けは絶対におやめください。

●製品の変形・分解・改造は絶対におやめください。製品の破損や故障の原因となります。

●乾電池を入れる時は、極性表示（プラス/マイナスの向き）に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・ケガや周囲を汚染する恐れがあります。

●連続して5分以上の操作は絶対におやめください。電動部の故障の原因となります。

●新しい乾電池と古い乾電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・ケガや周囲を汚損する恐れがあります。

●コンセントから電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

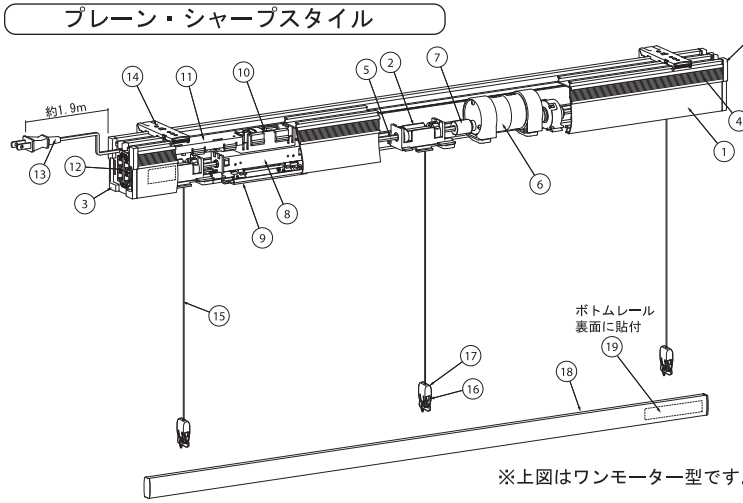
●リモコン送信機等は乳幼児の手の届く所に置かないでください。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しや操作をしないでください。感電や故障の原因となります。

●長期間ご使用にならないときは、リモコン送信機から乾電池を抜いておいてください。

# 1 取付け完成図と各部の名称

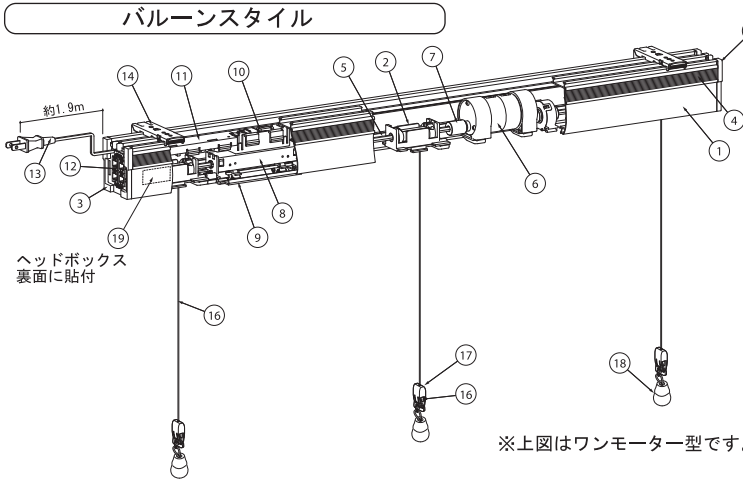
プレーン・シャープスタイル




| No | 部品名 |
|---|---|
| 1 | ヘッドボックス |
| 2 | ドラムセット |
| 3 | サイドキャップ |
| 4 | 面ファスナー |
| 5 | シャフト |
| 6 | ACモーターセット |
| 7 | シャフトジョイント |
| 8 | リミットユニット |
| 9 | リミットカバー |
| 10 | 電源基板 |
| 11 | メイン基板 |
| 12 | モジュラー基板 |
| 13 | コンセントプラグケーブル |
| 14 | ブラケット |
| 15 | 昇降コード |
| 16 | コードホルダーA |
| 17 | コードホルダーE |
| 18 | ボトムレール |
| 19 | メンテナンスシール |

※上図はワンモーター型です。

バルーンスタイル

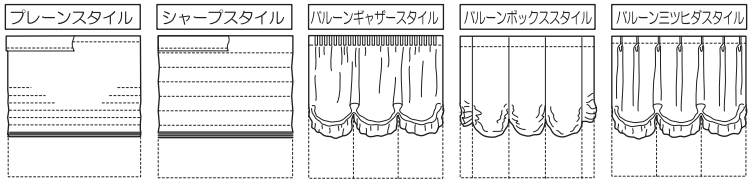



| No | 部品名 |
|---|---|
| 1 | ヘッドボックス |
| 2 | ドラムセット |
| 3 | サイドキャップ |
| 4 | 面ファスナー |
| 5 | シャフト |
| 6 | ACモーターセット |
| 7 | シャフトジョイント |
| 8 | リミットユニット |
| 9 | リミットカバー |
| 10 | 電源基板 |
| 11 | メイン基板 |
| 12 | モジュラー基板 |
| 13 | コンセントプラグケーブル |
| 14 | ブラケット |
| 15 | 昇降コード |
| 16 | コードホルダーA |
| 17 | コードホルダーE |
| 18 | ウエイト（40） |
| 19 | メンテナンスシール |

※上図はワンモーター型です。

| 製品仕様 | | | |
|---|---|---|---|
| 電源電圧 | AC100V　50／60Hz | モーター回転数 | 40/48rpm |
| 消費電力 | 動作時　ワンモーター型 約8W<br>ツーモーター型 約17W<br>待機時　1W以下 | モーター出力軸トルク | 29.4Ncm（3Kgf.cm） |
| | | 定格動作時間 | 5分 |

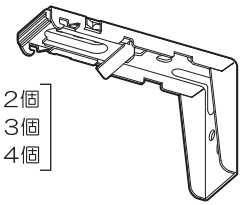
## 適用スタイル



## 2 付属部品

### ブラケットセット

●正面付・天井付兼用ブラケット



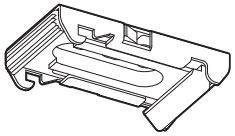
| | |
|---|---|
| 幅150㎝以下 | 2個 |
| 幅151㎝～210㎝ | 3個 |
| 幅211㎝～340㎝ | 4個 |

●ブラケット仮止め用両面テープ（ブラケットと同数）

●ブラケット取付けネジ（ブラケット数×２本）

### オプション部品

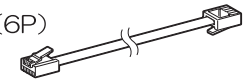
●天井付専用ブラケット



| | |
|---|---|
| 幅150㎝以下 | 2個 |
| 幅151㎝～210㎝ | 3個 |
| 幅211㎝～340㎝ | 4個 |

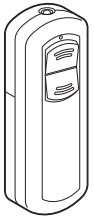
●通信ケーブル（6P）（3m）

●通信ケーブル（6P）（5m）

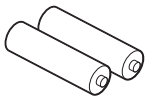


### リモコン送信機（2ch用）

●リモコン送信機



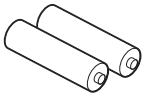
●乾電池（単３×２個）



### リモコン送信機（4ch用）

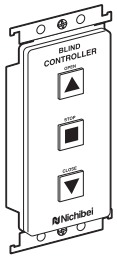
●リモコン送信機

●乾電池（単3×2個）

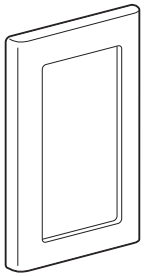


### 埋込スイッチ式

●シングルコントローラーF




スイッチ

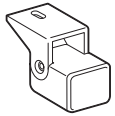


スイッチプレート（一連用）

※上図は一連用スイッチです。

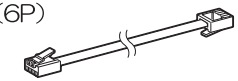
### 受信機セット

●リモコン受信機



●リモコン受信機取付けネジ（1本）

●通信ケーブル（6P）（2m）



**⚠注意**

付属のブラケット取付けネジは木枠用ですので、木質以外の下地（石膏ボード等）にはご使用になれません。
取付け面の材質及びブラケットのネジ穴（φ４㎜）に適合するネジおよびプラグ・アンカー等を別にご用意ください。

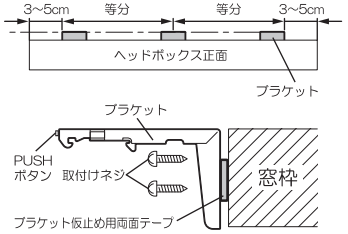


## 3 取付け方法・取外し方法

### ブラケットの取付け

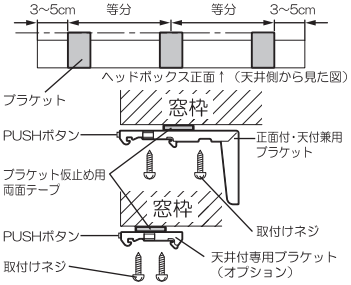
#### 窓枠の外側（正面付）に取付ける場合

●ブラケットを下図のような位置に両面テープで仮止めし、２本の取付けネジでしっかり固定してください。




#### 窓枠の内側（天井付）に取付ける場合

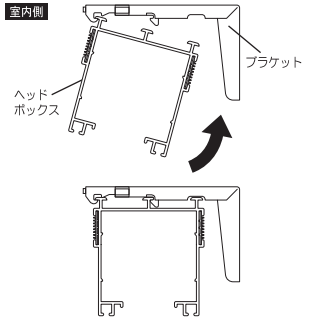
●ブラケットを下図のような位置に両面テープで仮止めし、２本の取付けネジでしっかり固定してください。



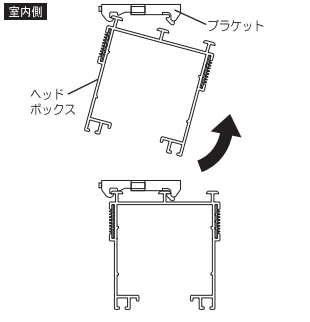

### 本体の取付け方

●ブラケット手前側の溝にヘッドボックスのツメを引っ掛けてから、奥側のツメを「カチッ」と音がするまで押込んでください

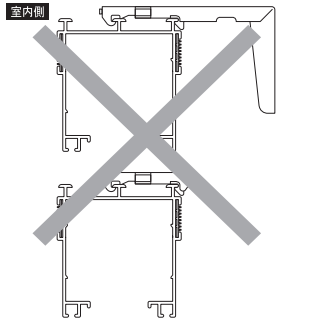
#### 正面付・天井付兼用ブラケットの場合




#### 天井付専用（オプション）ブラケットの場合



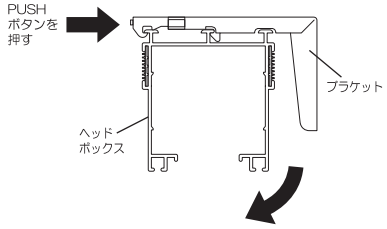

#### 取付け禁止例



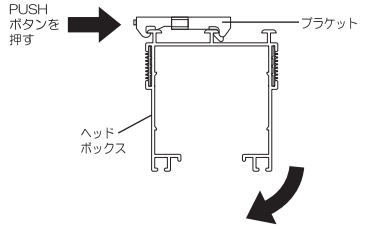

### 本体の取外し方

●生地部をたくし上げた状態で本体を手で支えながら、ブラケットのPUSHボタンを押してください。

#### 正面付・天井付兼用ブラケットの場合



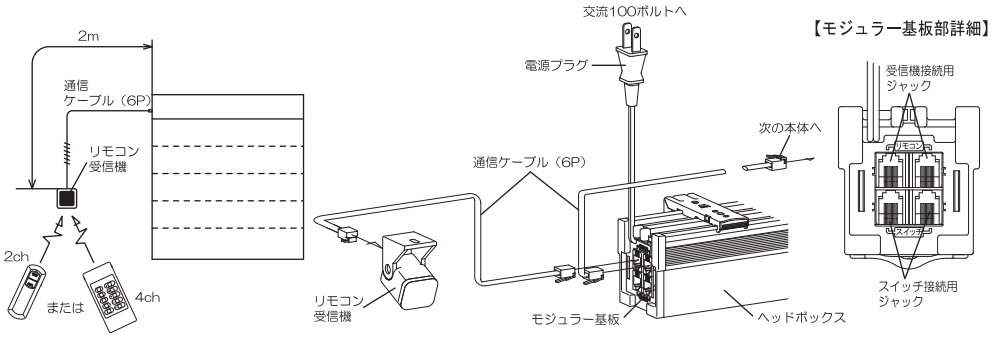

#### 天井付専用ブラケットの場合



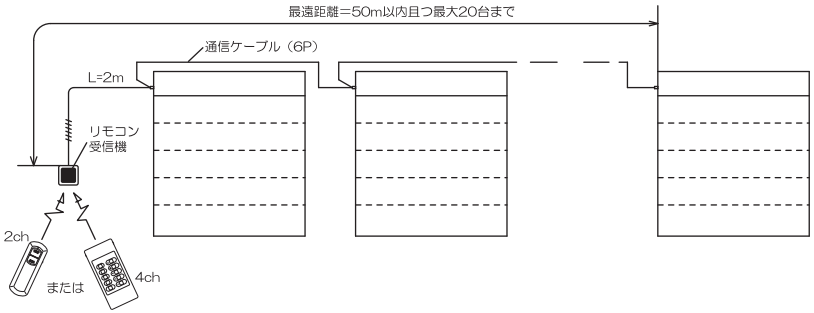
# 4 配線接続方法

## リモコン送信機（２ch用／４ch用）の場合

### 単独操作（リモコン）




### 一斉操作（リモコン）



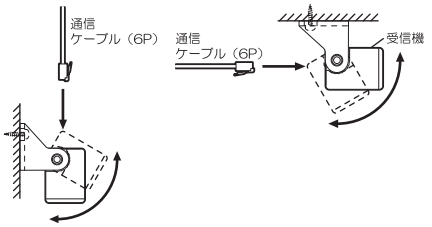

①リモコン受信機に通信ケーブル（6P）を接続し、通信ケーブル（6P）のもう一方をモジュラー基板の受信機接続用ジャックのいずれかに接続する。
②複数台を接続するとき（一斉操作時）は、受信機接続用ジャック同士を通信ケーブル（6P）で接続してください。（通信ケーブル（6P）は別途手配（オプション）となります。）

**注意** リモコン用の通信ケーブル（6P）は、モジュラー基板のスイッチ用ジャックに接続しないでください。誤作動する恐れがあります。

- ２種類（2ch用/4ch用）のリモコン送信機を併用することはできません。
- 接続した通信ケーブル（6P）は、ヘッドボックス上部の外側の溝にはわせて納めることもできます。
- 本体とリモコン受信機の距離は、最大１０mまでです。
- 最大接続台数は２０台までです。複数台を接続する場合、リモコン受信機から最も遠い本体までの距離は５０m以内です。



## リモコン受信機の取付け

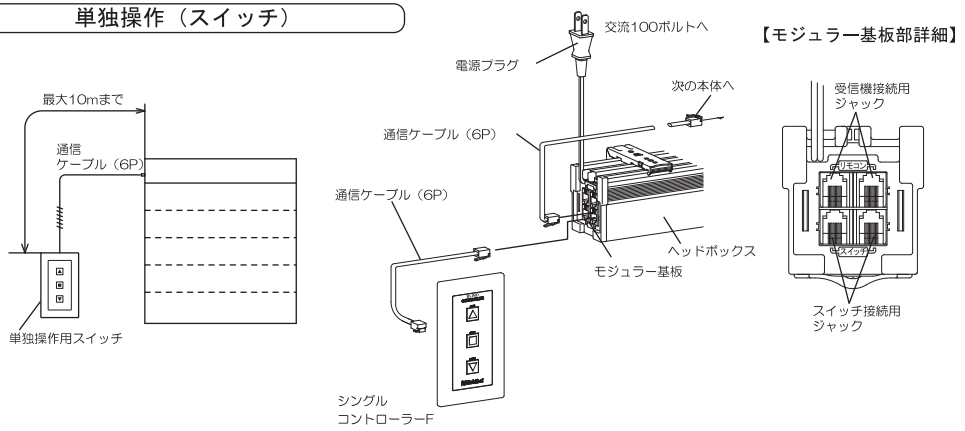



①取付け面に直接ネジで止めてください。
②通信ケーブル（6P）を接続してください。
③受信しやすい位置に受信機の角度を調節してください。

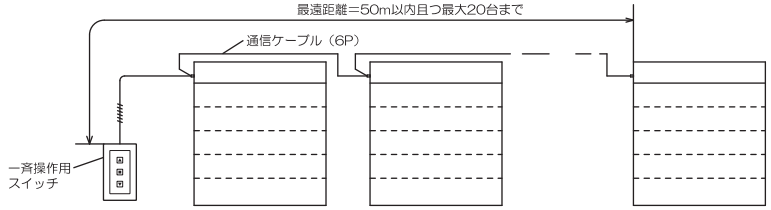
**注意** 受信機は、蛍光灯の近くや直射日光の当たる場所には設置しないでください。

## シングルコントローラーＦ（スイッチ）の場合

### 単独操作（スイッチ）




### 一斉操作（スイッチ）




①シングルコントローラーＦ（スイッチ）と本体モジュラー基板のスイッチ接続用ジャックを通信ケーブル（6P）で接続してください。
②複数台を接続するとき（一斉操作時）は、スイッチ接続用ジャック同士を通信ケーブル（6P）で接続してください。

**注意** スイッチ用の通信ケーブル（6P）は、モジュラー基板の受信機接続用ジャックに接続しないでください。

- シングルコントローラーＦ（スイッチ）は、単独操作または一斉操作でのみ操作可能です。
- 接続した通信ケーブル（6P）は、ヘッドボックス上部の外側の溝にはわせて納めることができます。
- 本体とスイッチの距離は、最大１０mまでです。
- 最大接続台数は２０台までです。複数台を接続する場合、スイッチから最も遠い本体までの距離は５０m以内です。通信ケーブル（6P）は、別途手配（オプション）となります。

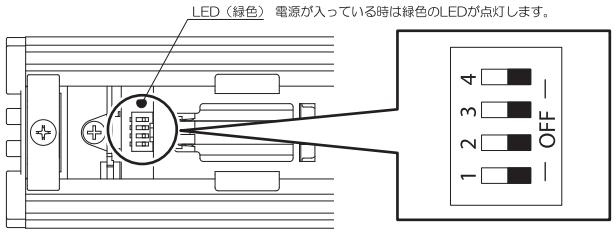
# 5 操作仕様設定

## 本体のディップスイッチ設定

●本体を操作するリモコン送信機とチャンネルを、ディップスイッチで設定します。

### ディップスイッチの位置

ディップスイッチはヘッドボックスの左側にあります。




※出荷時は全てOFFです。

【ヘッドボックスを下から見た図】　【ディップスイッチ拡大図】

### 仕様設定表

ディップスイッチを切替え、操作するリモコン送信機およびチャンネルを設定してください。

**注意**　ディップスイッチ切替えの際は必ず電源を切ってください。
※電源を切らないと操作は無効です。

| リモコン | | ディップスイッチ | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 種類 | チャンネル | 1 | 2 | 3 | 4 |
| リモコン送信機（2ch用） | 1ch | OFF | OFF | OFF | |
| | 2ch | ON | OFF | OFF | |
| リモコン送信機（4ch用） | A | OFF | OFF | ON | |
| | B | OFF | ON | ON | |
| | C | ON | OFF | ON | |
| | D | ON | ON | ON | |
| シングルコントローラーF（スイッチ） | | 設定不要 | | | |

●ディップスイッチ3はリモコン送信機の種類を切替えます。
●ディップスイッチ1，2はチャンネルを切替えます。
●ディップスイッチ4には機能が割り付けられておりません。（OFFにしてください。）

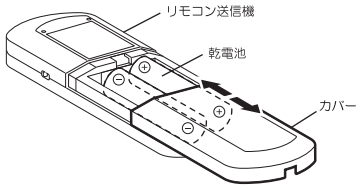


# 6 リモコン送信機への乾電池の入れ方

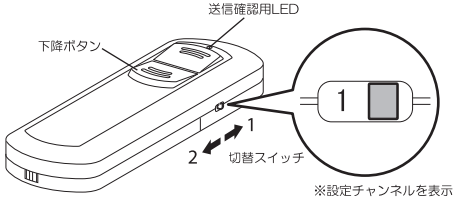
●電極（⊕⊖）の方向に注意して乾電池を正しくセットしてください。

## リモコン送信機（2ch用）

①リモコン送信機裏面のカバーを外します。
②電極（⊕⊖）の方向を確認し、乾電池を正しくセットします。

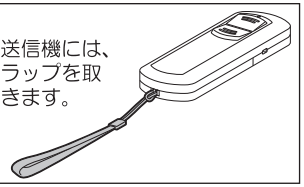



③カバーを正しく取付け、ディップスイッチで設定したチャンネルに切替スイッチを合わせます。
④下降ボタンを押し、送信確認用ＬＥＤが赤く点灯することを確認します。



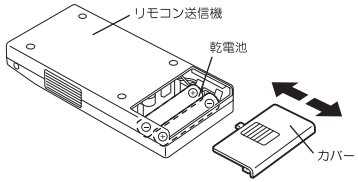

※設定チャンネルを表示

【参考】
・2ch用リモコン送信機には、市販の携帯ストラップを取付けることができます。

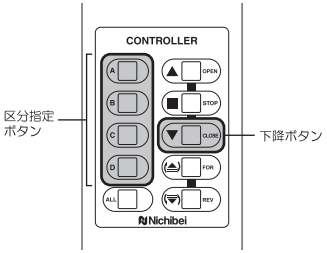


## リモコン送信機（4ch用）

①リモコン送信機裏面のカバーを外します。
②電極（⊕⊖）の方向を確認し、乾電池を正しくセットします。

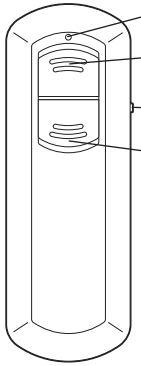



③カバーを正しく取付け、区分指定ボタンを押してから下降ボタンを押し、シェードの動作を確認します。



# 7 リモコン送信機の操作方法

## リモコン送信機（2ch用）



送信確認用ＬＥＤ(赤)

上昇ボタン ……シェードを上昇させます。
もう１度押すとシェードが停止します。

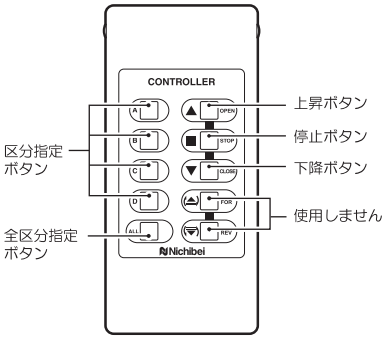
切替スイッチ ……操作するシェードのチャンネルを切替えます。

下降ボタン ……シェードを下降させます。
もう１度押すとシェードが停止します。

※上昇中に下降ボタンを押すと下降します。
下降中に上昇ボタンを押すと上昇します。

**注意** 送信距離は最大5mまでです。
※角度または現場の状態により送信距離が短くなる場合があります。

## リモコン送信機（4ch用）




### ①シェード区分No. を指定

A～D ……操作したい区分のシェードを指定します。
ALL ……区分A～Dを一斉に操作できます。

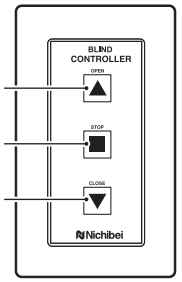
### ②昇降操作

▲OPEN ……シェードを上昇させます。
■STOP ……シェードを停止させます。
▼CLOSE……シェードを下降させます。
FOR / REV ……使用しません。
（動作中に1秒以上ボタンを押すと停止しますが誤作動ではありません。）

※上昇中に下降ボタンを押すと下降します。
下降中に上昇ボタンを押すと上昇します。

**注意** 送信距離は最大5mまでです。
※角度または現場の状態により送信距離が短くなる場合があります。

## 埋め込みスイッチ（シングルコントローラーＦ）




上昇ボタン ……シェードを上昇させます。

停止ボタン ……シェードを停止させます。

下降ボタン ……シェードを下降させます。



# 8 リミット調整方法

**注意** リミット位置は出荷時に予め調整していますが、取付け場所によっては施工後に微調整が必要となります。

## リミットスイッチの調整方法

●ヘッドボックス左側にリミットユニットがあります。リミットカバーがヘッドボックスの溝へはめ込まれていますので、リミットカバーを取外してください。
●向かって、左側のダイヤルが上限位置調整用（白色）、右側のダイヤルが下限位置調整用（緑色）です。

### 上限停止位置を下げる場合

①上限位置より下降させた状態で調整ダイヤル（白色）を部屋外側へ少し廻してください。
（1回転で約4～6cm下がります）
②上昇操作を行うと、上限停止位置が下がります。
③希望位置になるまで繰り返してください。

### 上限停止位置を上げる場合

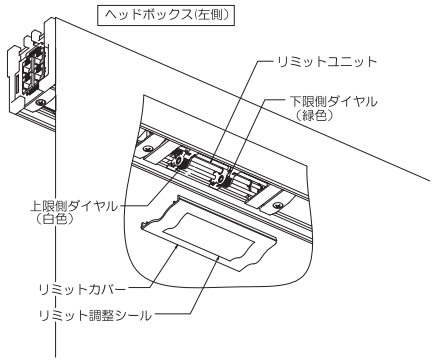
①上限停止状態で調整ダイヤル（白色）を部屋内側へ少し廻してください。
（1回転で約4～6cm上がります）
②下降操作を行い（約30cm程度）、再度上昇操作を行うと、上限停止位置が上がります。
③希望位置になるまで繰り返してください。

### 下限停止位置を下げる場合

①下限停止状態で調整ダイヤル（緑色）を部屋外側へ少し廻してください。
（1回転で約4～6cm下がります）
②下降操作を行うと、下限停止位置が下がります。
③希望位置になるまで繰り返してください。

### 下限停止位置を上げる場合

①下限位置より上昇させた状態で調整ダイヤル（緑色）を部屋内側へ少し廻してください。
（1回転で約4～6cm上がります）
②上昇操作を行い（約30cm程度）、再度下降操作を行うと、下限停止位置が上がります。
③希望位置になるまで繰り返してください。




**注意** 上限位置の調整時は、最上段リングとヘッドボックス下面の間隔を約3cm以上あけて設定してください。上限位置を上げすぎると、リング部がドラムに巻き込み故障の原因となります。

### 調整ダイヤルの回転方向とリミット位置の関係

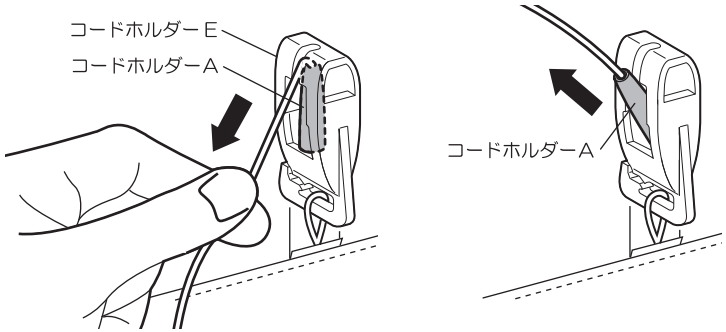
| 調整ダイヤルの回転方向 | リミット停止位置 | |
|---|---|---|
| | 上限側 | 下限側 |
| 部屋内側 | 上がる | 上がる |
| 部屋外側 | 下がる | 下がる |

※ダイヤル1回転で約4～6cm程度停止位置が変更されます。

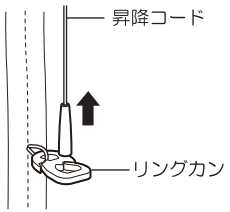
# 9 クリーニング方法（クリーニングが可能な生地のみ対象）

## 生　地　の　取　外　し　方　プレーンスタイル

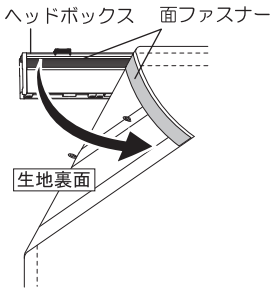
①生地最下部裏面にあるコードホルダーEからコードホルダーAを取外してください。
※コードホルダーEは生地に取付けた状態で洗濯できます。




②昇降コードを最上部のリングカンまで順番に外してください。

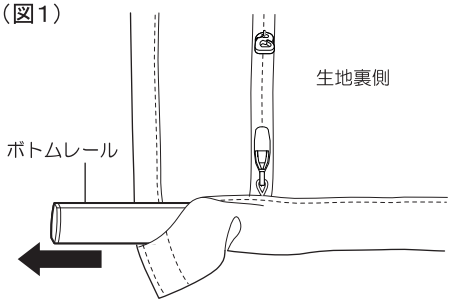



③ヘッドボックスから生地を取外してください。ヘッドボックスと生地は、面ファスナーで付いていますので簡単に取外せます。

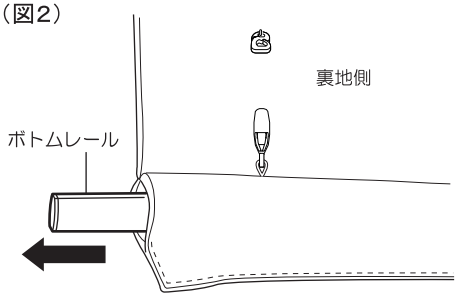



④ボトムレールを生地最下部の取り出し口から抜いてください。（図１）
※裏地付きの場合は、生地最下部の表生地と裏地の間からボトムレールを抜いてください。（図２）

（図1）



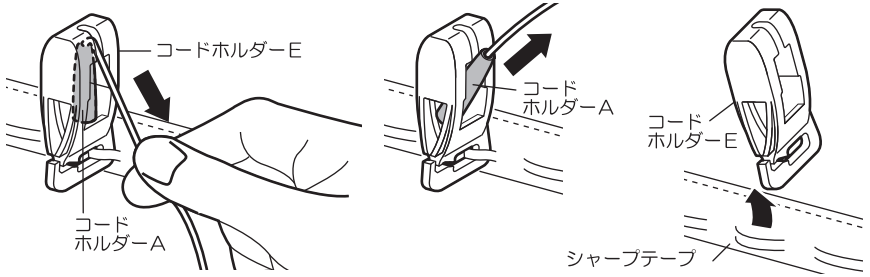

（図2）



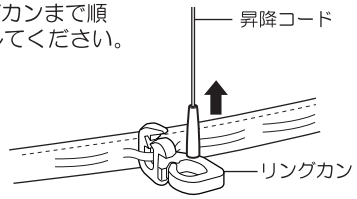



## 生　地　の　取　外　し　方　シャープスタイル

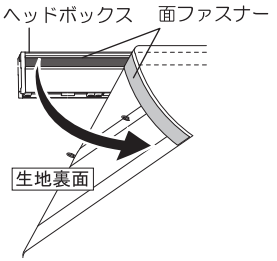
①生地最下部裏面にあるコードホルダーEからコードホルダーAを取外してください。
次に、コードホルダーEをシャープテープから取外してください。
※コードホルダーEは生地に取付け時に必要になりますので大切に保管してください。




②昇降コードを最上部のリングカンまで順番に外してください。

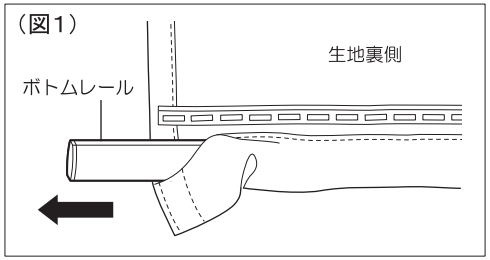



③ヘッドボックスから生地を取外してください。ヘッドボックスと生地は、面ファスナーで付いていますので簡単に取外せます。

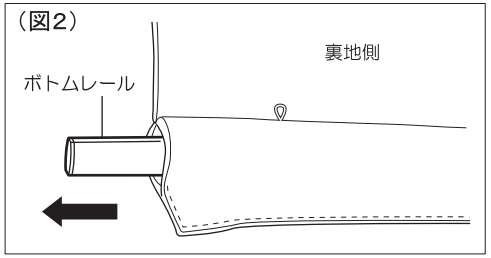



④ボトムレールを生地最下部の取り出し口から抜いてください。（図１）
※裏地付きの場合は、生地最下部の表生地と裏地の間からボトムレールを抜いてください。（図２）

（図1）

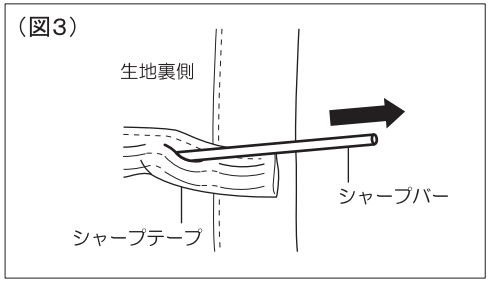



（図2）

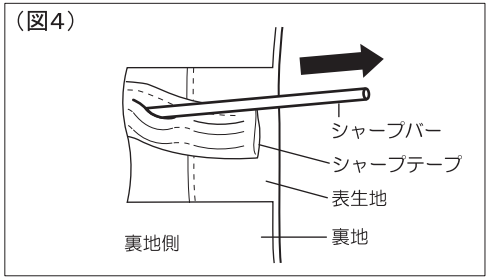



⑤シャープバーをシャープテープからすべて抜いてください。（図３）
※裏地付きの場合は、表生地と裏地の間にあるシャープテープからシャープバーを抜いてください。(図４)

（図3）

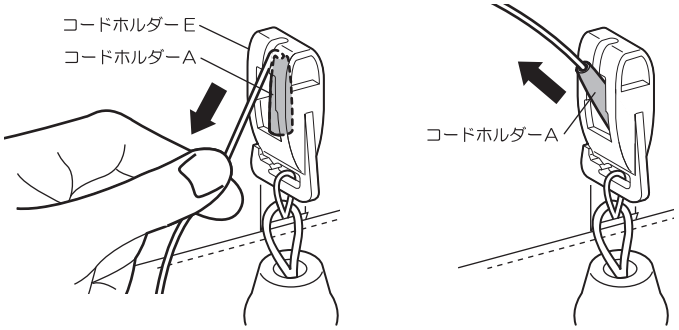



（図4）



## 生　地　の　取　外　し　方　バルーンギャザー・バルーンボックス・バルーン三ツヒダスタイル

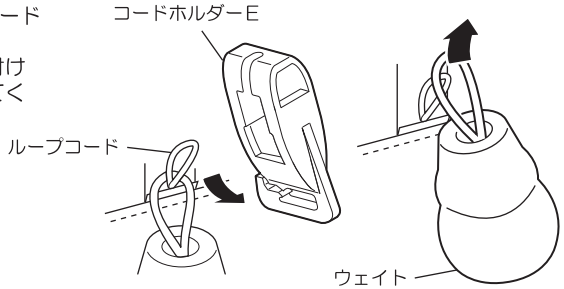
①生地最下部裏面にあるコードホルダーEからコードホルダーAを取外してください。



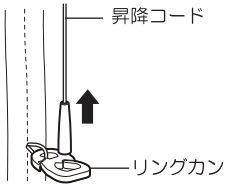




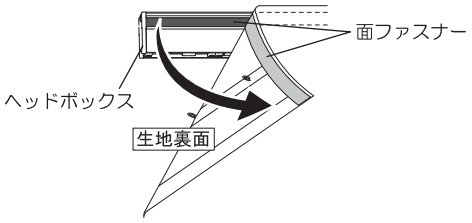
②コードホルダーEとウェイトをループコードから取外してください。
※コードホルダーEとウェイトは生地取付け時に必要になりますので大切に保管してください。




③昇降コードを最上部のリングカンまで順番に外してください。




④ヘッドボックスから生地を取外してください。
ヘッドボックスと生地は、面ファスナーで付いていますので簡単に取外せます。




**注意**
- クリーニングは生地裏面ラベルの表示に従ってください。
- 洗濯は必ずネットに入れて行ってください。

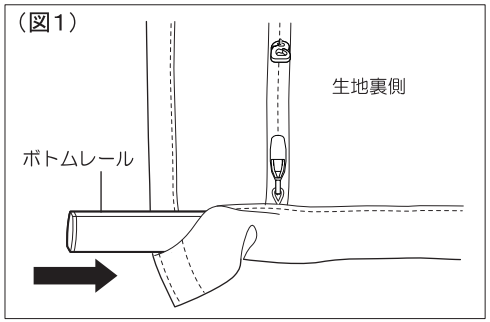
●防炎品についての洗濯は生地裏側にある洗濯表示ラベル・防炎ラベルに従ってください。
●非防炎品についての洗濯は生地裏側にある洗濯表示ラベルに従ってください。
●マイプラン（支給生地）で製作の場合は表示ラベルが付いていないことがあります。
この場合は、お買い求めの販売店にご確認ください。
●裏地付きは、表生地と裏地の収縮差によりシワが生じる場合がありますので、ご注意ください。



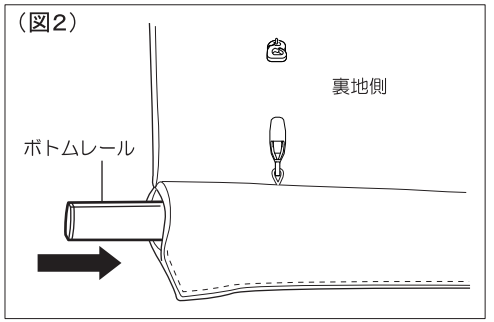
## 生　地　の　取　付　け　方　プレーンスタイル

①ボトムレールを生地最下部の差し込み口から取付けてください。（図１）
※裏地付きの場合は、生地最下部の表生地と裏地の間からボトムレールを取付けてください。（図２）

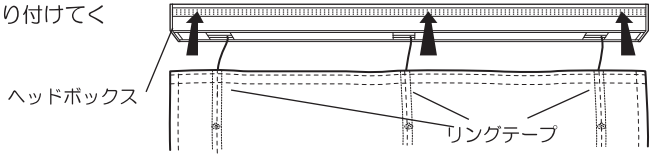
（図1）



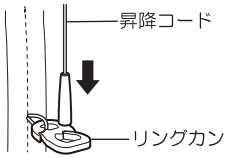

（図2）



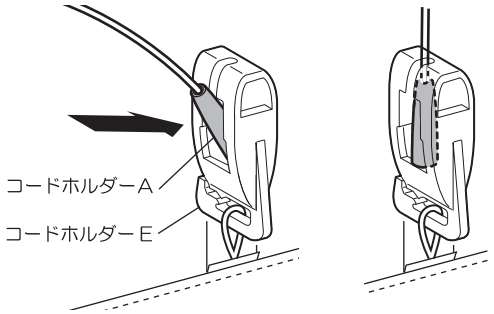

②生地上部をヘッドボックスに貼り付けてください。




③昇降コードを生地最上部のリングカンから順にすべて通してください。



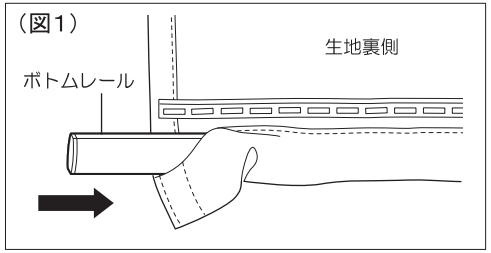

④コードホルダーAを生地最下部のコードホルダーEに「パチン」と音がするまで押し込み、取付けてください。



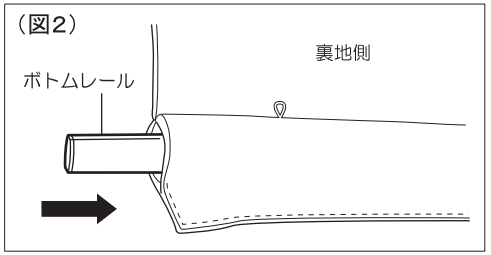
## 生　地　の　取　付　け　方　　シャープスタイル

①ボトムレールを生地最下部の差し込み口から取付けてください。（図１）
※裏地付きの場合は、生地最下部の表生地と裏地の間からボトムレールを取付けてください。（図２）

（図1）

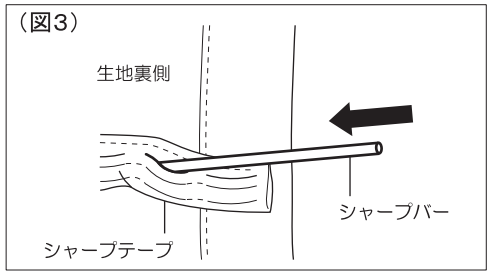



（図2）

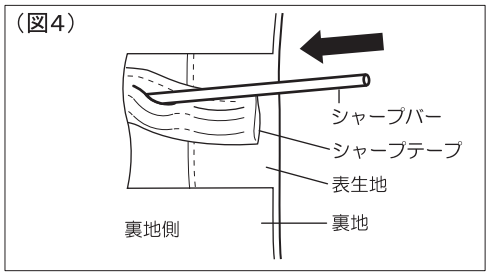



②シャープバーをシャープテープに取付けてください。（図３）
※裏地付きの場合は、表生地と裏地の間にあるシャープテープからシャープバーを取付けてください。（図４）

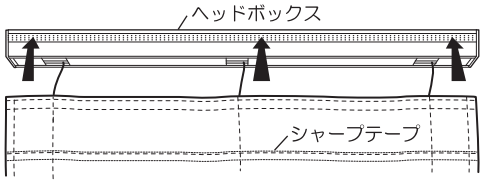
（図3）



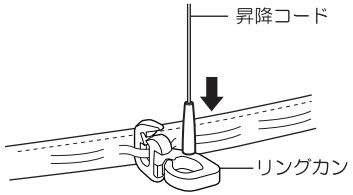

（図4）



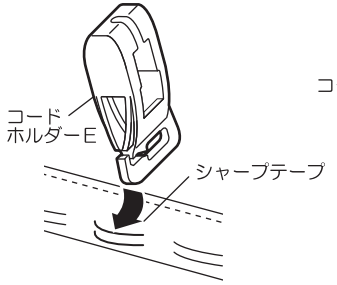

③生地上部をヘッドボックスに貼り付けてください。

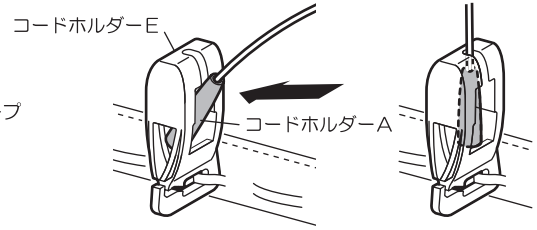



④昇降コードを生地最上部のリングカンから順にすべて通してください。




⑤コードホルダーEを生地最下部のシャープテープに下図のような向きに取付けてください。
次に、コードホルダーＡをコードホルダーＥに「パチン」と音がするまで押し込み、取付けてください。

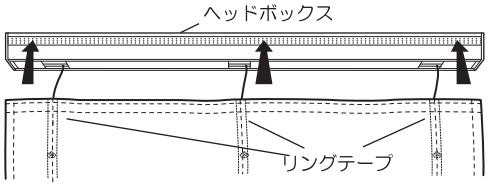


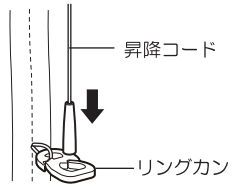



## 生　地　の　取　付　け　方　　バルーンギャザー・バルーンボックス・バルーン三ツヒダスタイル

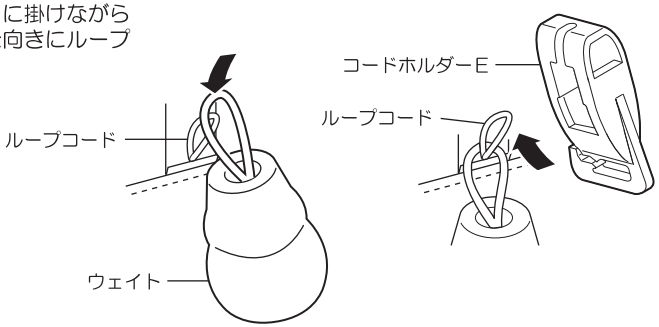
①生地上部をヘッドボックスに貼り付けてください。



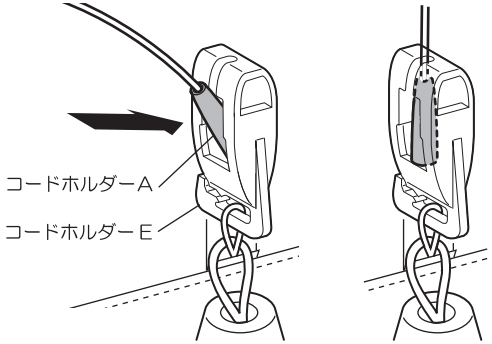

②昇降コードを生地最上部のリングカンから順にすべて通してください。




③ウェイトを生地のループコードに掛けながらコードホルダーＥを図のような向きにループコードに取付けてください。




④コードホルダーＡを生地最下部のコードホルダーＥに「パチン」と音がするまで押し込み、取付けてください。



## 10 こんなときには…

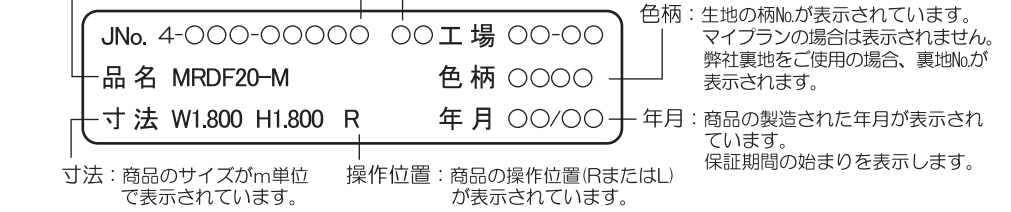
| 状　態 | 対　策 |
|---|---|
| ◎リモコン送信機を操作してもシェードが動かない。 | ●リモコン送信機に乾電池が入っているか確認してください。<br>●受信機の角度、または取付位置を変更し再度操作してください。<br>（蛍光灯や太陽光線に直接さらされると作動しない場合があります）<br>●区分指定ボタンを押してから昇降操作を行ってください。 |
| ◎本体が作動しない。 | ●電源（100V）が入っているか確認してください。（メイン基板のLEDが点灯しているか確認してください）<br>●ケーブル等の配線接続に誤りがないか確認してください。<br>●一度電源をOFF（10秒以上）にして再度ONにしてください。 |
| ◎最上限で停止せず、モーターが停止しない。 | ●リミット位置が調整されていません。<br>上限リミット位置をリミット調整方法（12ページ）にしたがい調整してください。 |
| ◎下限で停止せず、逆に上がっていく。 | ●リミット位置が調整されていません。<br>下限リミット位置をリミット調整方法（12ページ）にしたがい調整してください。 |
| ◎ラジオ等に雑音が入る。 | ●シェード本体から離したところで使用してください。 |
| ◎生地にマーキングが付いていた場合。 | ●生地の一部に縫製加工上のマーキングチャコ（紫色）が残っている場合があります。これは、数日程で消えますが、気になる場合は水を付けた布で軽くたたくようにしてふくと早く消えます。<br>※綿等、縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。マーキングは水とともに蒸発します。 |



## 11 メンテナンスシールについて

●商品についての詳細はメンテナンスシールに記載してあります。
メンテナンスシールの貼付け位置は、1 構造図と各部の名称をご覧ください。

（例）




## 12 保証について

●この商品は保証対象商品です。下記の保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

### 保　証　書

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当商品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、当社保証規定に従って修理させていただきます。
修理をご依頼の場合は、メンテナンスシールをご確認の上、お買い上げいただいた販売店又は、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

**保証期間：お買上げ日より３年間**

**保証規定**

1．取扱説明書・本体注意ラベル・操作カードに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は無償で修理させていただきます。但し、消耗部品（生地・コード・チェーン類）の無償保証期間は1年となります。(※マイプランの場合、生地に関する内容は対象外となります)
キズ・汚れにつきましては、お買い上げ後７日以内にお申し出ください。
2．保証期間内でも次の場合は無償修理対象外（有料修理）となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤りによる故障または破損。
・不当な改造、修理による故障または破損。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障または破損。
・特殊環境（極度の高温多湿、薬品のガス、公害、粉塵等）による故障または破損。

●お客様サービス窓口：TEL03－3272－2595
（お問合せ時間：平日9時～17時30分）

株式会社ニチベイ
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4

販売店名

住　所

電話番号

お買い上げ日　　年　　月　　日